



おちよる船大工

寄り道情報

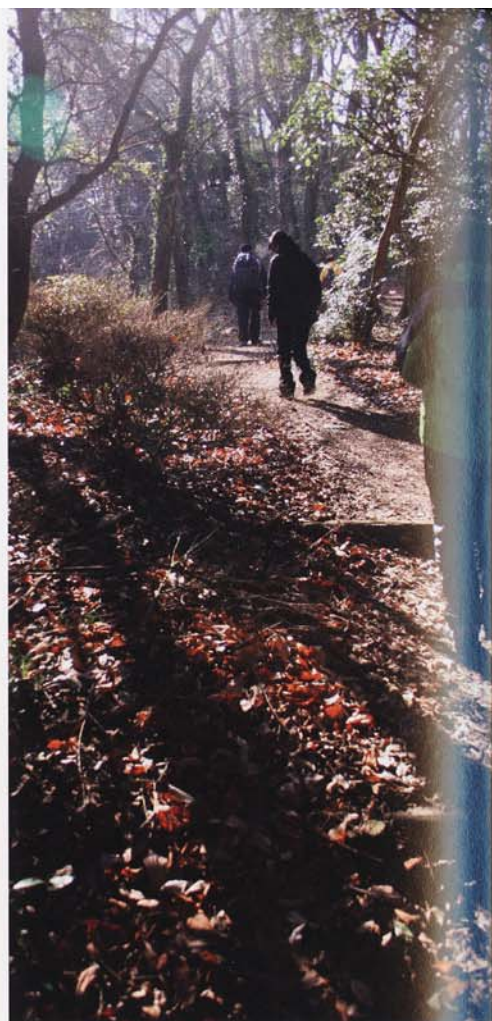
陸路で行ける愛媛県

この大崎下島から、なんと陸路で愛媛県へと行ける。島伝いに小さな橋を渡っていくといつの間にか愛媛県に入ってしまうのである。もっとも、注意深く橋の表面を見ていると、とある橋の中央に「広島県／愛媛県」の県境を示す文字が書かれている。ちょっと珍しい県境表示である。

実は、愛媛県に属する岡村島は、橋によって広島県側とつながっているが、愛媛県とは船でないと往来できない。この岡村島では二つの場所をお勧めしたい。一つ目は、半円状で白亜の「ナガタ二展望台」。この展望台からの瀬戸内海の眺めは絶品である。映画のロケ地に選ばれそうなくらいの絶景だ。もう一つは、国立公園観音崎。岬にあるこの場所はいつ訪れても穏やかな瀬戸内海が出迎えてくれる。また、この観音崎への入り口付近の砂浜からは、対岸に御手洗の町並みを遠望できる。



岡村島の展望台から瀬戸内海を望む



冬の日だまりを求めて歩く（一峰寺山）



(上) 御手洗の古い町並み。右奥は若胡子屋 (左下) 一輪ざしの町家 (右下) 桜満開の天満宮

ワンポイント講座

町並み保存地区・旧柴屋住宅
御手洗を散策するのであれば、旧柴屋住宅から始めたい。大規模な町家の伝統的建造物を無料開放し、御手洗を紹介するビデオを上映。この町家に滞在した伊能忠敬に関する資料なども展示されている。町の歴史・文化の質問も受け付けている。

る。そこから少し車道を引き返すと、一峰寺山への尾根筋道の入り口標識がある。細い道をのぼっていくと幅1m程度の尾根筋道になる。そこからは緩やかな道を進んでいくと、前方に小さな神社が見え始める。そこが一峰寺水分神社であり頂上である。頂上からの展望は期待できないが、尾根筋を反対側に5分程度下ると車道の行きどまり地点に出る。

ここにはあずま屋があり、瀬戸内海が一望のもと、よく晴れた日には中国山脈の連なりが確認でき、ひとつ下のあずま屋からは四国の山並みと瀬戸内海のきらめく海面がスベクタクル映画のように展開している。



熊野神社・杉の巨木



【アクセス】中国自動車道・庄原ICから30分（葦嶽山）・40分（熊野神社）
 【問い合わせ先】庄原観光協会 ☎0824-73-0602

一方、熊野神社は、「古事記」にも出てくるイザナミの神の御墓である。坂を下り、鞍部からのぼり返した辺りに、巨石群が展開している。はつきりとその獅子の表情が読み取れる「獅子岩」や、方位を示す「方位石」、祭時に供物を置いたとされる「ドルネン」と呼ばれる大岩があったりする。



熊野神社よりの登山者

里地・里山

二つの
パワースポット

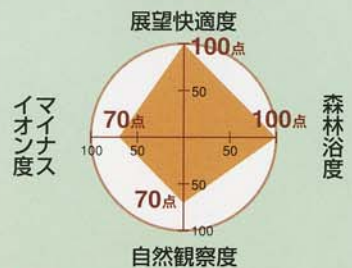
2

あしたけやまさんろく くまのじんじや
葦嶽山山麓と熊野神社
 日本のピラミッド伝説と杉の巨木群
 庄原市

オススメ度 ★★★★★

魅力満喫度

400点満点 **340点**



その他の魅力

スピリチュアル的な場所としての存在感は大きい。双方ともに共通するキーワードは「ワンダー（不思議）」である。

コースデータ

- 徒歩総時間……2時間（葦嶽山山麓）、1時間（熊野神社）
- 楽しめる期間……4～11月（熊野神社は冬季も可能）
- オススメの季節……新緑5月、紅葉11月、残雪期の3月（熊野神社のみ）

最寄りの施設

かんぼの郷庄原 葦嶽山山麓と熊野神社のほぼ中間点に位置。露天風呂を有する温泉。土産物販売、トイレあり。宿泊も可。
 ☎0824-73-1800

コースの特徴

葦嶽山へのアプローチ道は大別すると二つある。少々歩く時間が長い野谷ルートと、ある程度まで車で標高を上げることのできる灰原ルートである。

今回は、山麓をゆっくりと味わうことが目的なので灰原ルートをご紹介しよう。灰原ルート最奥の小屋まで行き駐車。そこから標識に従い、未舗装の道を進む。ものの5分程度で山道への進入口にたどり着く。

そこからの400m余り上り坂が連続する。尾根筋の道に変化すると緩やかな山道を約10分歩く。木々の間から見える中国山脈は雄大そのものである。
 左からの道の合流点を過ぎると、再び上りとなってくるがさほど心配することはない。頂上までは200mそこそこである。山頂から